

筑波大学大学院博士前期課程
人間総合科学研究科生涯発達専攻
リハビリテーションコース

令和2年度入学試験

論述試験問題

[注意]

1. 問題は、問題1と問題2の2問です。
問題1は、(1)、(2)の2つの設問からなっています。すべての設問に答えてください。
問題2は、(1)と(2)の2つの設問からなっています。すべての設問に答えてください。
2. 答案用紙は600字詰め4枚、下書き用紙は4枚あります。
答案は、設問ごとに答案用紙1枚にまとめて記載してください。
答案用紙の裏面は使用しないでください。
下書き用紙は、自由にお使い下さい。
3. すべての答案用紙に必ず受験番号を記入してください。
4. 各答案用紙の欄外の左上に、問題番号〔問題1(1)、問題1(2)、問題2(1)、問題2(2)〕を明記してください。
5. 試験終了後、問題用紙と下書き用紙も回収しますので、持ち帰らないでください。

問題 1

図 1 は、車両等におけるバリアフリー化の推移を示したものである。また、図 2 は、「あなたは、以下のそれぞれの交通機関を利用する際に、どの程度バリアフリー・ユニバーサルデザインが進んだと思いますか。教えてください。」という質問に対する回答の結果を示したものである。

- (1) 図 1 と図 2 から読み取れることを 400 字以内で述べなさい。

- (2) 図 1 と図 2 に基づいて、バリアフリーに対する人々の意識について、あなたの考えを 600 字以内で述べなさい。

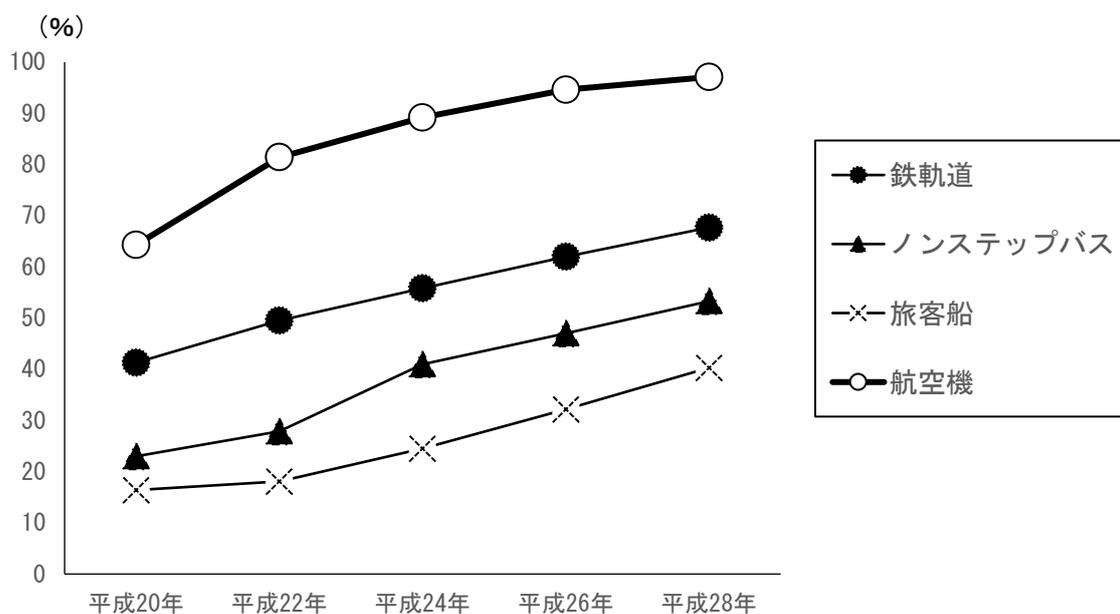


図 1

出典： 国土交通省「移動等円滑化実績等報告書」（平成 29 年）より作成

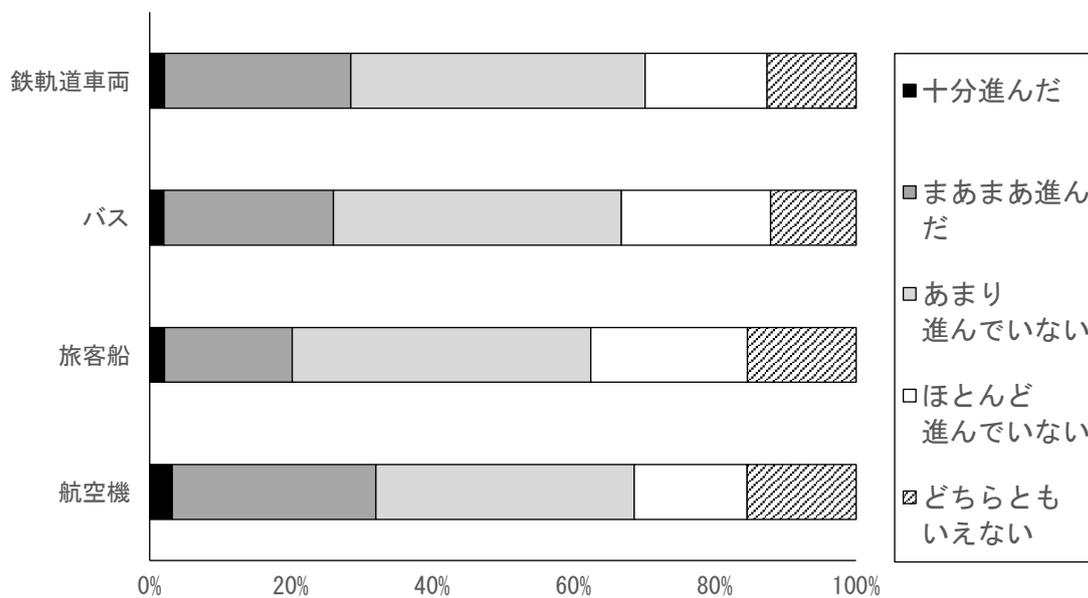


図 2

出典： 内閣府「平成 28 年度バリアフリー・ユニバーサルデザインに関する意識調査報告書」（平成 29 年）より作成

問題2

別添の文章（5頁～9頁）は、森田良行著「日本人の発想、日本語の表現」（中公新書，1998年）の一部を抜粋したものである。この文章を読んで、以下の（1）と（2）の設問に答えなさい。

- （1）下線部（6頁）の「日本語と諸外国語との違い」について、著者の考えを400字以内でまとめなさい。

- （2）別添の文章の内容を踏まえて、文学における文章と研究論文における文章の違いについて、あなたの考えを600字以内で述べなさい。

著作物にあたるため、この部分は公開できません。